

資銀十萬圓、これは分割補助と爲る工事とやらに充てられ、次に都市計畫費
に充てられ、都市計畫審議會費は別に説明は要しないと云う事。都市計畫街
路施設費中、施設費四百五十萬圓、これは又、又、街道の用地を買収したも
のもです。公園費で熊川の園地整備事業関係の百八十萬圓支出された切手。
土木関係については以上でございす。次に警費でございすのみ、かなり細部はわか
らぬが、説明する切手の中、省警署にいたるまで、市款の税金及び労働施設費から
予算額が一、二五〇萬圓以内にして、千七百四十萬四千五百九十九圓の支出しとな
り、予備費から若干円を繰用して、功をあげてあります。次に国民年金賦課
購買費、これは歳入に切り替へる割代金として入つたもので、関係がございすのみ、支
出は切手としては印紙の購入費として六百三十三萬五千五百五十四圓と少し違つて切手
のみでは、出る方と入る方の間の差や大体歳入通りの支だし、草になつて切手
す、次に公營買屋建設費として四億九千万三千九百七十九圓と算んた切
り手のみ、その主なものには、事務職員費の三百八十八萬圓、施設費の百三十万圓、的二百坪

の地を求め、新設した土地とする事とございます。五十六町は離作補償料でござります。その次に摩木処理費が九百六十九町四角の支出になるかと存じます。又し辰処理場費は予算に勘定して九百九十九町二角とござります。又出は五百七十五町五角となるかと存じ残してあります。これは本誌料の関係で減り、六百九十九町四角と九町の債費に流用いたした関係によるかと存じます。負債金補助金及び交付金で農林衛生組合の負担金十万の支出になるかと存じ前にお申し上げしましたように十八年度の実担金は不足分を全部十九年度に切り替へるかと存じようかと存じます。次に産業経費でござります。八百四十万二千八百九十円の予算額に対し七百四十万四千四百五十円となるかと存じます。予算に残った切ります。お別れ説明を変更する案はないと思ひます。つぎ次に財産費に勘定しては四百六十万九千四百五十円の予算の新築五十四戸が十町の支出に相当するかと存じます。財産購入費の売却費といふとして二百三十万、これは柳山レストハウスの敷地買収費として支出になるかと存じます。また同の起債を変更する

[illegible]

説明をいへば、お前通り也。要するに、合計は三百萬圓、小倉鐵道敷設費として繰出した分が千
九百十萬圓、千五百萬圓、この関係については、最初の予定が千九百十萬圓でございま
した。未償還といふことで不用になった額も千九百十萬圓という金額は繰出して
おいたものでござります。それ以外、国庫金計は繰出した金額が百五十萬圓、これは予算以
外として、三百萬圓と繰出す事になつておりました。かゝる關係の合計が予想以上
の収入ありまして、五十五萬圓を減して、百五十萬圓と繰出したのでござります。公債買入
につきましては、予定通り十五萬圓と繰出しつております。次の買入金については、明
細から見ております。その省略されていた部分です。それ以外、國鉄利権債、利息補給交
付金とものみがあり、千九百十萬圓千七百五十圓の内、利息補給金は、鐵道公債を賣却し、
種別についての際、鐵道公債を掛ける事になり、それと銀行に預託してありますので、
その額は補給関係でございます。予備費につきましては流用はございまして、その支出は
ありません。以上の概算の合計は、億七千四百四十萬五千五百圓、予算額に比較した
とき、千八百十萬三千六百九十圓の誤となつております。歳入歳出差引も、失礼申し

二百五十万五千七百の不足を生じましたがこの赤字は去年度より
歳入繰上増用し補へんため及び、以上が簡單で終し、下手で申
し訳のない存し、その般合計決算書の説明を終りて、いまださういふ通り、
本邦銀行と認定のしん事とお願い申し上ります。

一議長(高橋千春) 引き続き監査委員の報告を願います。

一三番(岸 茂) 議長

一議長(高橋千春) 三十三番

一三十三番(岸 茂) 御報告のありましたる、去年年度の般合計決算報告といたし、
たゞ、その般合計決算のありました通り、決算のついで、九月五日午前九時より、歳入歳
出決算のついで、増減の監査いたしました結果、般合計決算の状況並びに、会計経理に於
ける帳簿、証書類等の記録は、概ね良好であつた事を、認めました。意見書の通り、明
細のあつた通り、その省略をせういたさう、般合計決算決定の報告を終りま
す。

一議長(高橋千春) さいふり理事者の説明並びに監査委員の説明に對する質疑を行
なす。

一五番(林幸男) 議長

一議長(高橋千春) 五番

一五番(林幸男) 社会及び労働施設費の中、不用品が五万五千七百とあり、
り、又他公の通用額が八万五千とあり、その長ついで説明願ひたいと思ひます。

一收入役(秋山誠一) 實際には、試つてお金のほか、通用して、お金の関係の運用だ、
思ふ事けれども、最終的に、是れは、是れは、是れは、是れは、是れは、是れは、
み、除く、お金の、お金の、お金の、お金の、お金の、お金の、お金の、お金の、
是れは、お金の、お金の、お金の、お金の、お金の、お金の、お金の、お金の、
お金の、お金の、お金の、お金の、お金の、お金の、お金の、お金の、
實際の運用した、通りの帳簿に基いて、記載いたしました、このよう結果のあつ
た事。

二十番(大野付大)
 工賃屋の仲子みか久重金と工賃屋の通ひをすめ水道工
 事はいふにへうて却て又終始変更の所は仕事かといふに思ひ来みふは
 工賃屋の体的なむにへうて却ていふにその長つての通ひ来みふは

議長(高橋平春) 教育課長

一、警備隊長（田村）と雄一 大分市の遺成で、道事は重なるが、手帳の中は、
ておき、というのは、重なるのは補助金で、おき、手帳の中は、
おき、重なるのは、おき、手帳の中は、
おき、重なるのは、おき、手帳の中は、

二十八番(大野待次) 議長

一議長(市橋千春) 十八番

二十番大野村夫）　そういふ事と第ふ過渡の防費事の部が總金計に入つておるとす
れど正親の總金計ではなと思ひます。おなごも防費事になつたものはこの中に入
り、小遣事にしても金事とは切り別してやつていたものも今度はお金に費費の中に

ところが、やはり水道事業は別にしろ、業者がやめるの必要ではないかと聞いています。たゞ
 今の説明にもおかしなところに、監理事をやつておられる、特別会計はなるべく
 一般会計に入つていふとすると、この特別会計の事業金額はいふより大きい額が
 正規の特別会計としてのものでないかと聞いています。又、ついでに説明額とい
 うと聞いています。

教育課長と田村の雄
水道事業の関係に於ては、
不備金類等に留意せられ
るわけがあります。他如事は
つゞきとして、おれようにな
ります。又、便宜上一般会計
の外に出ないか、いかにわ
けがあります。

六十八番大野村大儀長

議長(南橋千春)
十八番

一、大坂大町行夫
岩崎秋成、特別査査員として、戦時特別会計をやめろという節を聞か
ずして、おとなしく黙念計と通つたやうなう。監査委員方も同様にいふと執

先般の申し渡しのその長監査委員の方は、はつきりといふの如何か。

一議長(前橋千春) 三十三番

一千番 岸 茂一 水道事業のこの中へ入つていふの如何かどうするかをまずみるの事

つづいて議長から諸君願ひたいと思ふ事。

一議長(前橋千春) 教育課長

一教育課長(田村忠雄) 水道事業のつづいては、新和の中へ入つた通り、事務員

金額の中に含まれる切手等のこの九千五百十元をその中へ入つて切手や

切手。

一十八番(大野行夫) 議長

一議長(前橋千春) 十八番

一十八番(大野行夫) 一教育計の事務員費中、水道事業として十元をその中へ入

るのみ、他は別な切手。

一教育課長(田村忠雄) 水道事業の事務員費の如何かと思ふ事。

一十八番(大野行夫) そのいふ今説明が、この教育計の中へ入つたものなど、これから説明の

の。

一教育課長(田村忠雄) そのいふ新和の教育の事務員費を、その中へ入つたものなど、

す。

一十八番(大野行夫) そうすると、この教育計の中へ入つたものなど、その中へ入つた

ものは、その中へ入つたものと、その中へ入つたものと、その中へ入つたものと、

一教育課長(前橋千春) 大野議員のいふ通りでございませう。先般議長からお話し

したように、特別会計の中へ入つたものなど、その中へ入つたものと、その中へ入つたものと、

そのいふ通りでございませう。特別会計の中へ入つたものなど、その中へ入つたものと、

そのいふ通りでございませう。特別会計の中へ入つたものなど、その中へ入つたものと、

そのいふ通りでございませう。特別会計の中へ入つたものなど、その中へ入つたものと、

そのいふ通りでございませう。特別会計の中へ入つたものなど、その中へ入つたものと、

そのいふ通りでございませう。特別会計の中へ入つたものなど、その中へ入つたものと、

